

2024年11月30日(土)12月1日(日)  
第6回飛騨高山学会

# 買い物困難の解決にむけた 実践的取組みと 健康的食生活に関する調査

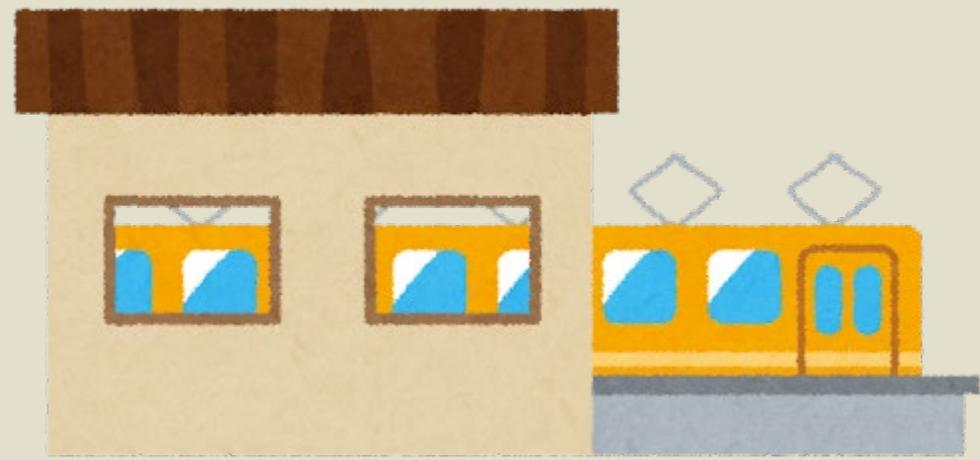
名古屋経済大学 経済学部  
地域政策ゼミナール

# 目次

1. 高山市の現況と食料品アクセス問題
2. 買い物支援に関する体験学習
3. 健康的な食生活に関する調査結果
4. まとめ



# 高山市の現況と 食料品アクセス問題



## ➤ 小売業者と店舗数の集積状況

区分	中心商店街	市全体	割合
店舗数 (店)	168	1,132	14.8%
従業者数 (人)	478	5,793	8.3%
年間商品販売額 (百万円)	5,079	110,960	4.6%

資料：高山市の商業、H26 経済センサス-活動調査

- 中心商店街は市全体の店舗数の約15%
- 店舗が集まることで従業者も集まる
- 中心市街地の総人口は10年で約2000人程減少している
- 高齢化率は5%ほど増加している

## ➤ 中心市街地の人口動向

区分	H25	H27	H29	R1	R3	R5	
総人口 (人)	10,648	10,338	9,963	9,551	9,068	8,649	
65歳以上人口 (人)	4,168	4,255	4,190	4,131	3,972	3,817	
高齢化率 (%)	39.1	41.2	42.1	43.3	43.8	44.1	
(参考) 市全体	総人口 (人)	92,328	90,904	89,328	87,740	85,649	83,461
	高齢化率 (%)	28.5	30.4	31.5	32.3	33.1	33.6

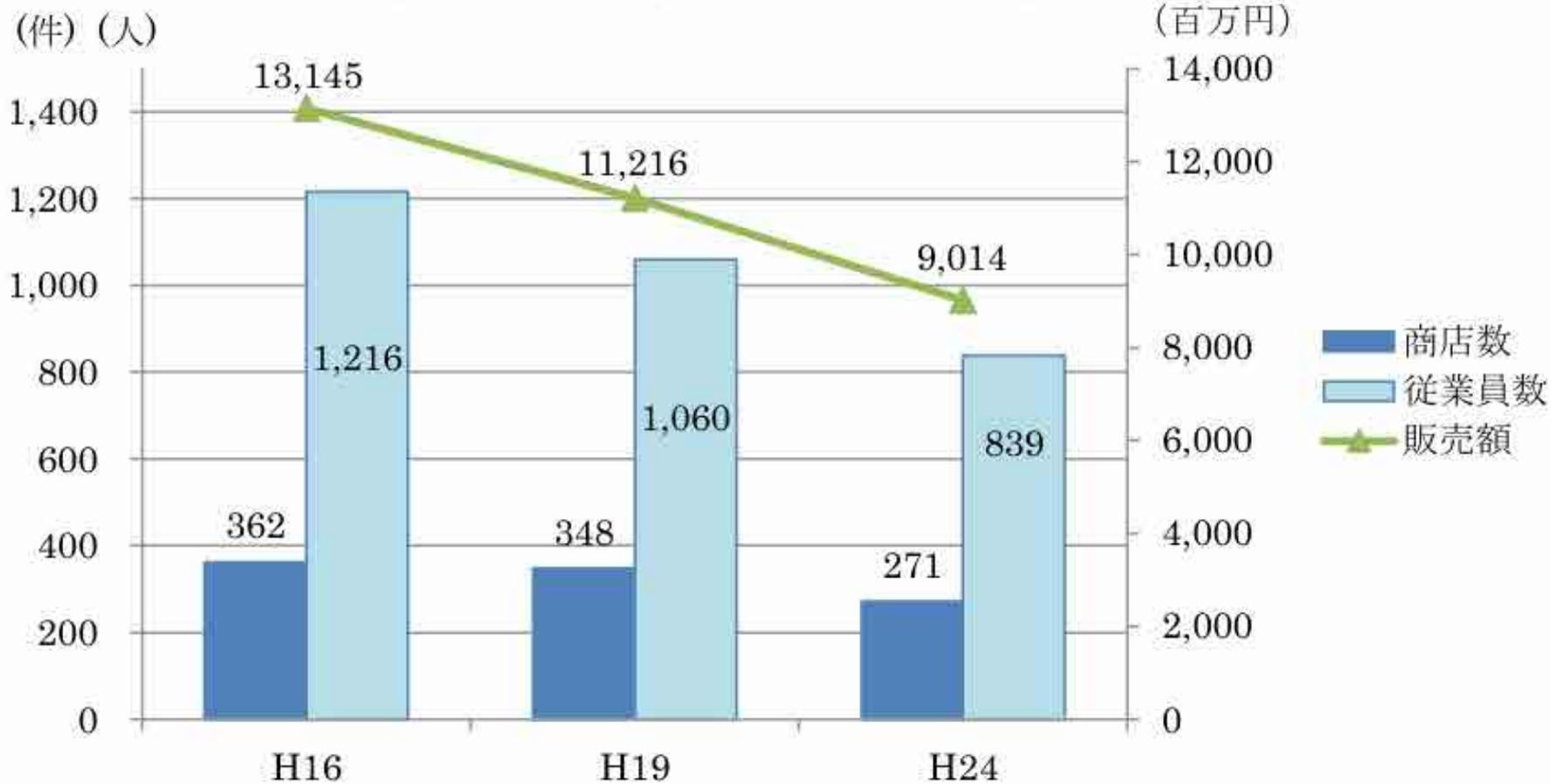
資料：高山市住民基本台帳（各年10月1日現在）



住民が減り、中心市街地に働きに来る人口の占める割合が増加!?

# ➤ 中心市街地における商業の推移

中心商店街の商店数、従業員数、販売額推移



出典：商業統計調査、H24 は経済センサス-活動調査

商店数は平成16年からの約10年間で100店舗近くが閉店、従業員数、販売額といった経済活動の指標も大きく減少。



たとえ色々な対策を講じても、中心市街地の経済活動は縮退していく!?

## ➤ 食料品アクセス問題について

高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方(いわゆる買い物困難者)が発生している問題を『**食料品アクセス問題**』という<sup>(1)</sup>。

この問題に対して、令和5年度、何かしらの対策(コミュニティバス・宅配サービス等)を行っているのは、全国1089の市区町村のうち約90%であった。<sup>(2)</sup>

### 問題の背景

「住民の高齢化・地元小売業の廃業・単身世帯の増加」があり中・小都市では「公共交通機関の廃止等のアクセス条件の低下・運転免許証の自主返納者の増加」が大都市より顕著になっていた。<sup>(3)</sup>

### 問題解決の先進事例

福井県池田町では、役場、商工会、農業協同組合の3団体の連携により「ゆいまーと」店舗を設置し、買い物困難が解消されただけでなく、地域コミュニティの形成の一助にもなった。<sup>(4)</sup>

## ➤ 高山市における食料品アクセス問題

### 中心市街地における買い物環境の変化<sup>(5)</sup>

- 1984年から大幅な店舗数の減少
- 大型ショッピングモールの出店、商店に代わるコンビニの登場
- 単一食品を取り扱う食料品店の減少が著しい
- 2002年に営業が確認できた駅東エリアの食料品店
  - ➡ 2020年には駿河屋八軒町店など閉店
- 現在では駿河屋・ファミリーストアさとう・精肉店のみ
  - ➡ 高山陣屋付近に住む高齢者にとって、スーパーが遠いか!?

# 買物支援に関する 体験学習

# ① プッシュ型※の買い物支援

## 高山米穀協業組合の御用聞きサービスに同行

### ➤ 御用聞きの流れ

対面、またはカタログなどで発注→商品を仕入れ  
→宅配専用のトラックでお客様の元へ配送

### ➤ 取り扱い商品

主にお米、油、卵、お菓子、飲料水、インスタント食品。

- 約2時間のあいだに、平均6~8件に配達
- 主に高齢者の自宅が対象。そのほか飲食店、ホテル等にも配達



## ➤ 高山米穀協業組合について

- 地元可愛され頼られる  
地域密着型総合企業
- 地域住民との積極的な交流
- 一般家庭向け事業
- 御用聞きサービス



# ➤ その他の買い物支援サービス

## 移動販売

- ・ とくし丸：  
高山市ではファミリーストアさとうが主に運行
- ・ 駿河屋スーパーカー：  
「エブリ東山」を事業拠点に白川村まで運行



## ➤ 他都市の先進事例

食品館あおば「買い物バス」

買い物難民の移動手段として、スーパー  
直行の無料のバスの運行



## ② プル型※の買い物支援

米穀協業組合の営業所で一日限定の**コラボ商店**を開店

### ◆ 開店までのスケジュール

5月～ 販売する商品の検討

9/9 村半での前日準備

9/10 米穀協業組合の城山営業所で実践販売



9月10日(火)  
限定!!

おしゃべり・雑談しませんか?  
名古屋経済大学の学生さんとの

### コラボ商店オープン!!!

旬の野菜や果物  
店頭のみ  
数量限定販売!!

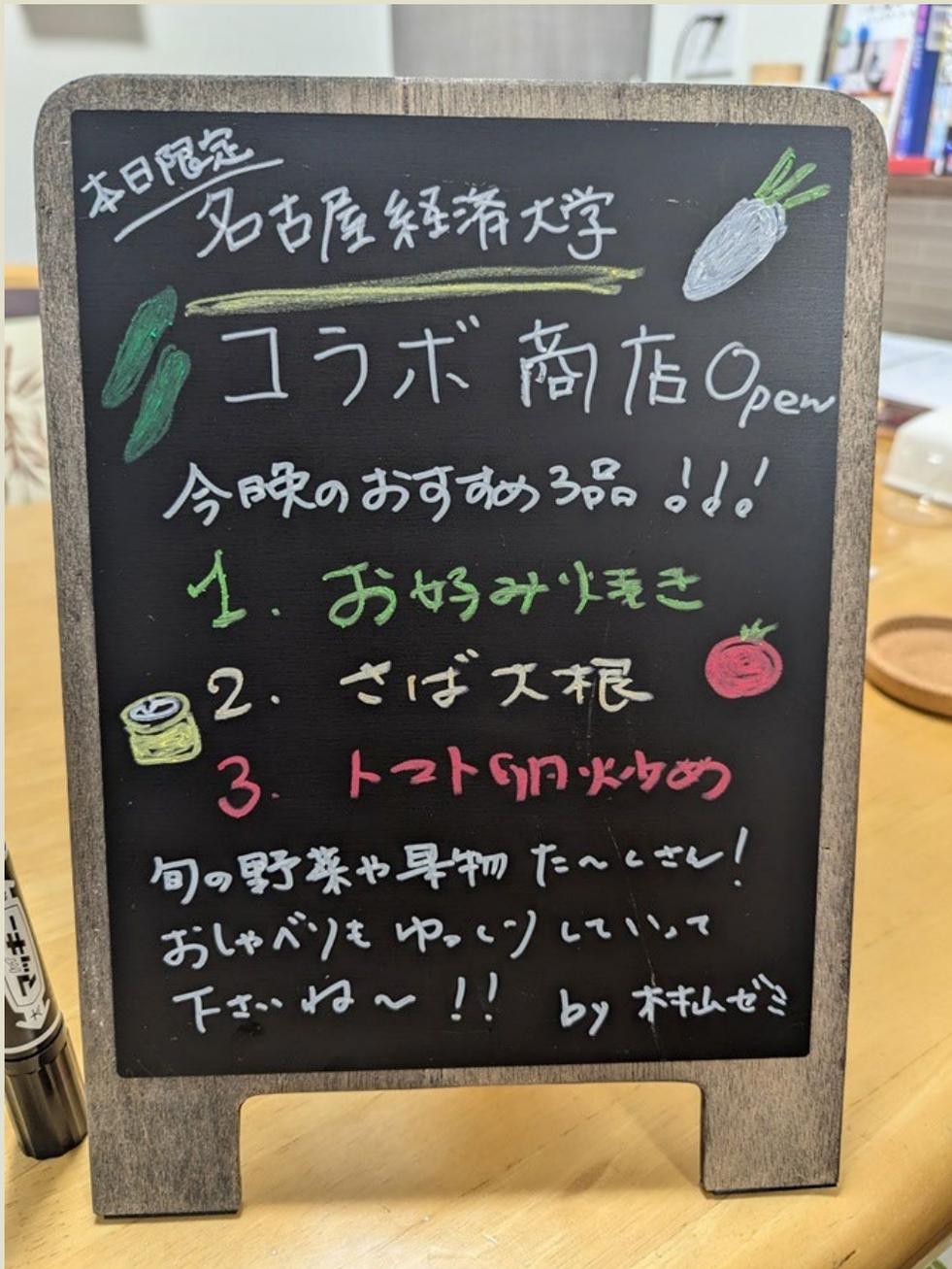
学生考案♡  
今夜作れる1品の食  
材を揃えました!

店頭にて商品2点以上  
ご購入のお客さま限定!  
粗品をプレゼント♡

たくさん  
ご来店  
お待ちしております

日時 9月10日(火)  
11時30分～15時30分まで  
場所 高山米穀協業組合 城山営業所  
堀端町130番地  
※ 駐車場はありませんので  
お車の来場はご遠慮ください。





① お好み焼き

キャベツやネギなど、9月に旬の野菜を使え、卵や肉など栄養バランスに富んだ一品

② さば大根

日持ちするサバ缶と旬の大根を使ったカルシウムの一品

③ トマト卵炒め

ビタミン豊富なトマトで手軽に作れる中華風の一品

# 仕入れた商品のカテゴリー

## 日持ち品

### 生鮮食品

- 野菜・果物
- 豆類・肉
- 卵・練り物

- 缶詰
- 乾麺
- 干物
- 菓子類
- 調味料

### 日用品

- トイレットペーパー
- ティッシュペーパー

# ➤ 前日準備の様子

コラボ商店の商品ディスプレイや一押しメニューのPOPなど作成

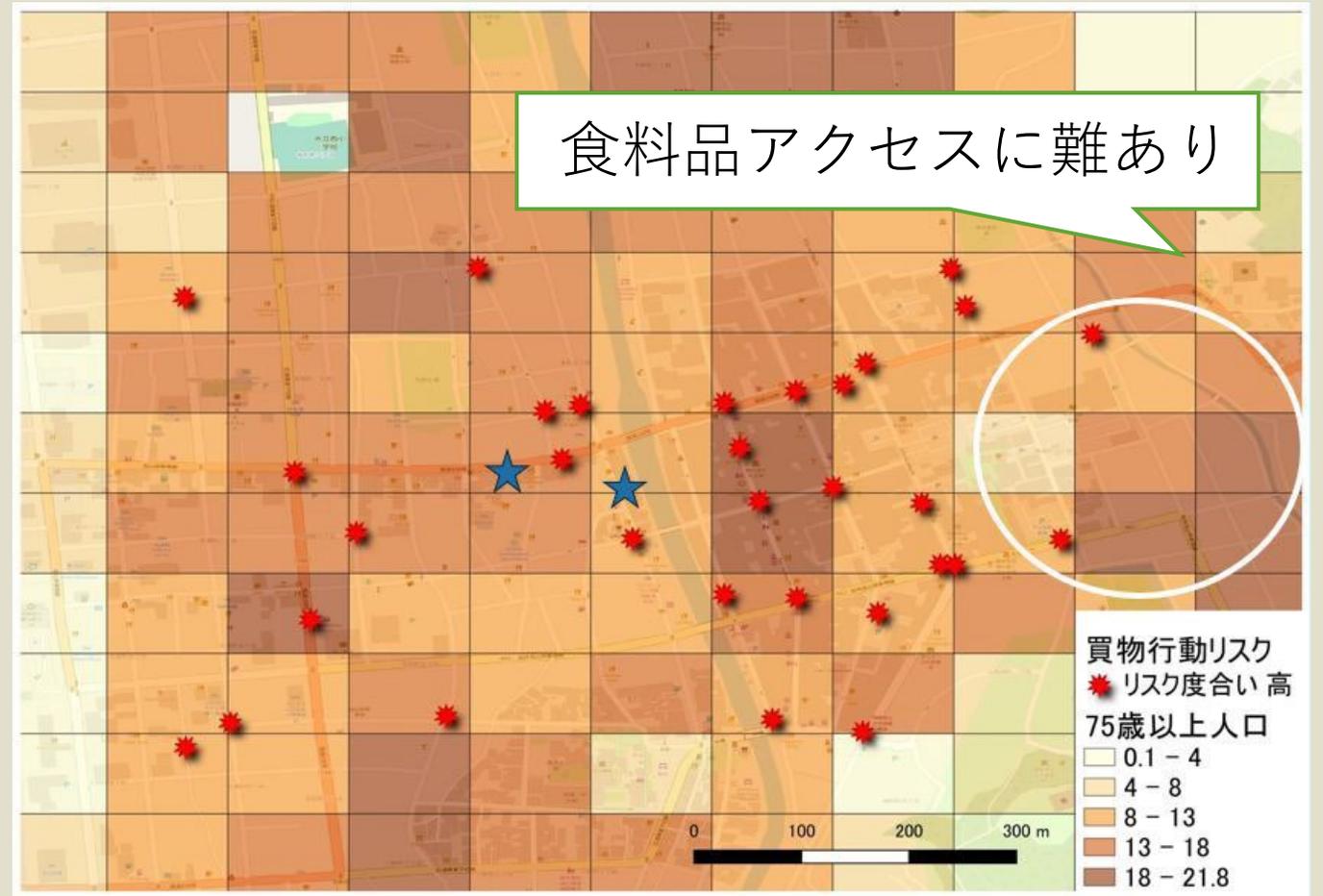


# ➤ 城山営業所での実践販売

## なぜ城山営業所でコラボ商店を??

### 23年度の調査結果

- 観光拠点の三町の東側に広がる高台エリアにおいて、今後は高齢化が進展。
- 周辺に買い物拠点なし。
- スーパーへの買い出しには、坂を上り下りし、観光客が多いエリアを通過しなければならない…



# ➤ 当日の様子 (営業時間 11:30~15:30)

- 徒歩のほか、自転車や自家用車で来店。10人強
- 食生活に関するアンケート調査
- 自宅まで荷物運び実施
- 値切り交渉も…



- 売れた商品

生鮮食品全般（大半が原価割れでの販売になったが・・・）

日持ち品：乾燥わかめ、せんべい、缶詰

調味料：みりん

- 売れ残った商品

日用品（ティッシュなど）

パックのお米、乾麺類

上白糖、麴みそなど



## 販売側が感じた課題

- ◆ 思ったより移動手段を有する高齢者が多い
- ◆ 買物行動など付加価値をEnjoy
- ◆ 一品物、冷凍食品の方が好まれる

## 利用側が感じた課題

- ◆ 告知が不足していた
- ◆ 営業時間が短い
- ◆ 買い物は午後しない
- ◆ 値段が高い
- ◆ レシピカード持ち帰り
- ◆ 買い物かごが必要

## 課題から見えた買い物支援のアイデア

- 高齢者の目に届く場所・方法による案内・周知が必要
- 出来合い商品（総菜など）、特に一人分の個食に需要あり
- 値段交渉、レシピ配布、食材Quizなど、買い物を楽しむ仕掛けづくり

# 健康的な食生活 に関する調査結果

# ➤ 食品摂取に関するアンケート調査

回答者数 51件 = 御用聞きサービスの顧客 + 1日限定店舗の買い物客

## ➤ 主な質問項目

①性別 ②年齢 ③家族構成 ④自家用車の所有 ⑤近所づきあい、全11問

## ➤ 「栄養バランス」に関する質問

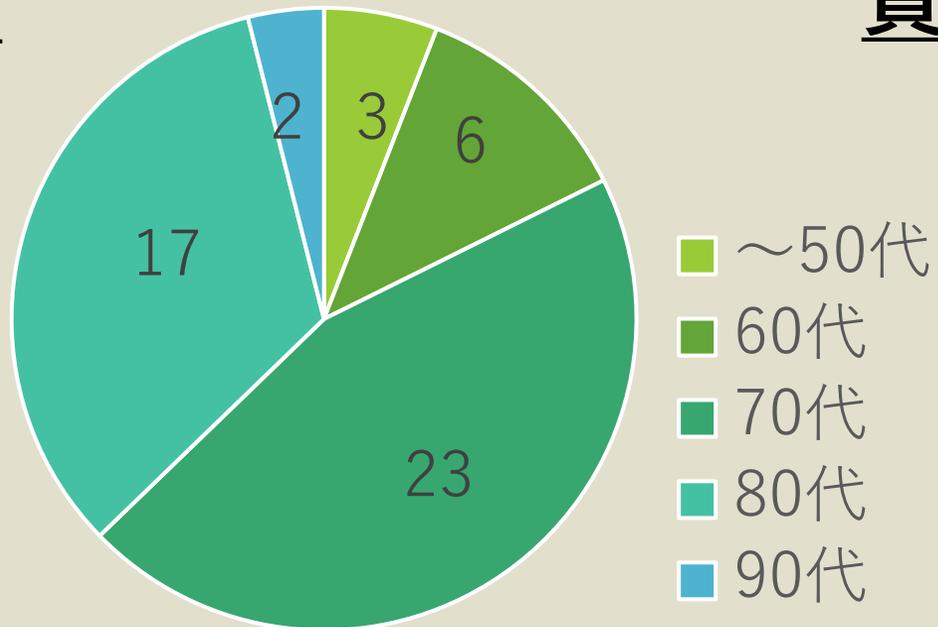
食品摂取多様性 = 10の食品群の食事頻度

魚介類、肉類、卵、牛乳、大豆・大豆製品、緑黄色野菜類、  
海藻類、イモ類、果物、油脂類

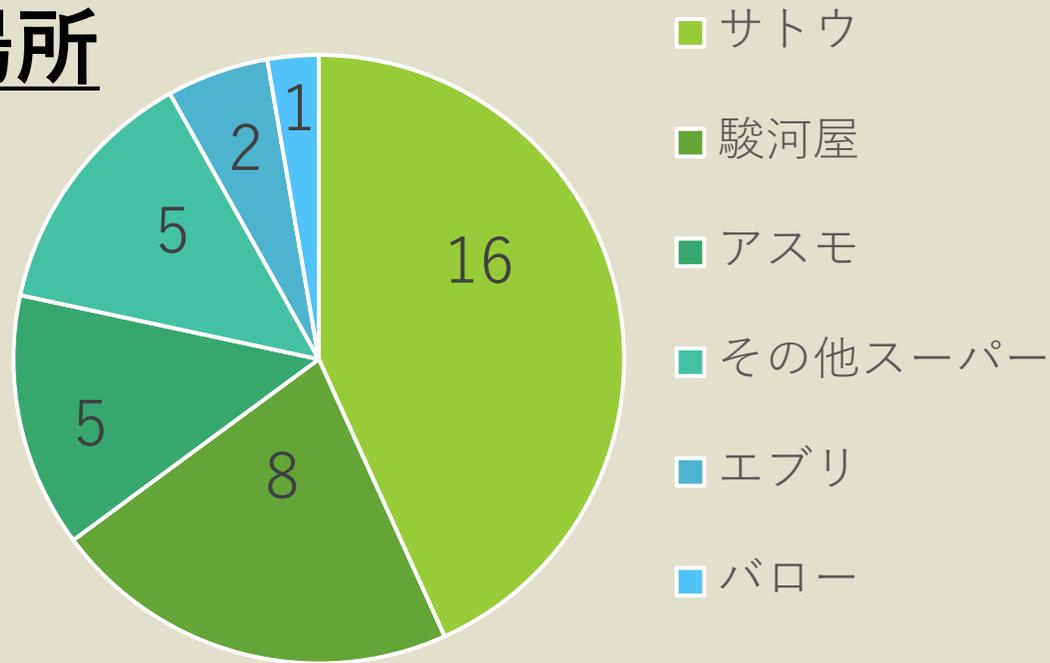


家族構成・自動車所有・買物頻度と栄養バランスとの関係性を分析

# 年齢



# 買い物場所



# 近所づきあい

※ 数字が大きいほど隣同士の関係性が深い

1 : 挨拶をする 33人	2 : 家族構成を知っている 19人	3 : 世帯主の仕事を知っている 23人	4 : 旅行土産のやり取り 15人
5 : 互いの家を行き来する 11人	6 : 悩み事を相談する 8人	7 : 近場に連れだって出かける 7人	8 : 所有物貸し借りを 9人

# ➤ 買い物頻度との関係

(買い物頻度が多いか少ないの違いによる栄養バランスを比較)

【予想】 週3回以上の方が栄養バランスが良い



結果は…？

【結果】 週3以上/**4.00** 週1～2/**3.67**

(考察)

買い物頻度が多くなれば、栄養の高い食材が揃いやすく、栄養バランスのいい食生活が送れる。

# ➤ 家族構成との関係

(同居者が多いか少ないかの違いでの栄養バランスを比較)

【予想】 独りでない方が栄養バランスが良くなる



一人暮らし	3.64
夫婦のみ	4.00
子供と同居	3.93

(考察)

夫婦や子供といった親族と協力できる環境があることによって、栄養バランスの良い買い物が可能となる。

# ➤ 自動車所有との関係

(買い物に適した移動手段を有するかによって栄養バランスを比較)

【予想】 車を保有する方が栄養バランスが良い



結果は…？

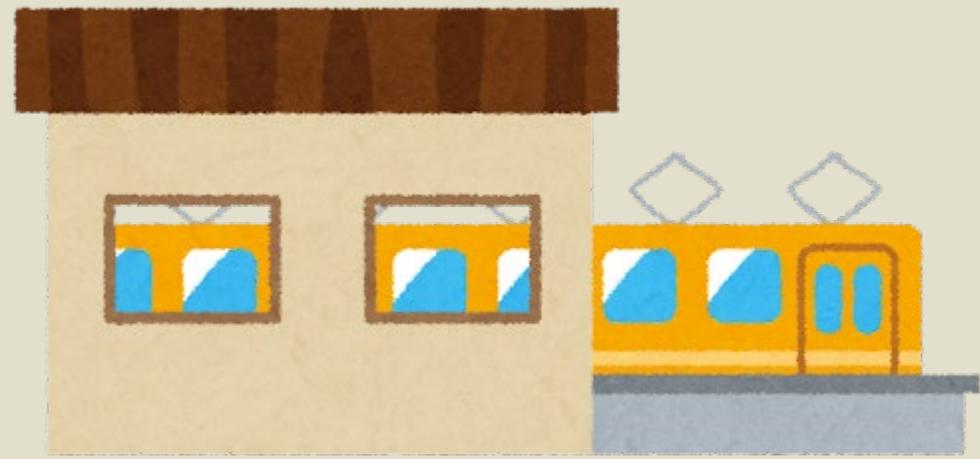
【結果】 保有している/**3.25** 保有しない/**4.58**

予想とは逆の結果

(考察)

自家用車による移動が簡単であるため、外食の頻度が高くなり、栄養バランスの悪い食事になっている可能性もある。

# まとめ



## (アンケート調査から)

- 平均的に栄養バランスのとれた食事ができている。
- 個々人の経済的豊かさよりも、近所との繋がりといったネットワークの豊かさが、栄養バランスに好影響。

## 高山市中心市街地における食料品アクセス

食料品アクセスが困難な環境は存在すると考えられるが、多くの高齢者の方々は思っていたよりアクティブに行動していた。



**【疑問】5～10年後もアクティブな買い物行動が可能か??**



さまざまな買い物需要に応える**多様な買い物方法の確保が重要**

## ➤ 参考文献・資料

- (1) 薬師寺哲郎ほか（2015）『超高齢社会における食料品アクセス問題 ―買い物難民，買い物弱者，フードデザート問題の解決に向けて』ハーベスト社
- (2) (3) 農林水産省ホームページ  
([https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/attach/pdf/access\\_genjo-8.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/attach/pdf/access_genjo-8.pdf))
- (4) 農林水産省ホームページ  
([https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/project/attach/pdf/120330\\_24sup1\\_1\\_02.pdf](https://www.maff.go.jp/primaff/kanko/project/attach/pdf/120330_24sup1_1_02.pdf))
- (5) 名古屋経済大学（2021）「中心市街地の 買い物環境の復元」第3回飛騨高山学会